

Service Introduction

- 株式会社DATAREIN
サービス紹介資料

2026.1.9



伴走型支援で、企業の「未来」をデータとAIで再定義する。

会社名	株式会社DATAREIN
設立	2024年5月2日
所在地	〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目 60-5ロイヤルパークスERささしま 1331号室
役員	代表取締役社長 吉川涼也 代表取締役副社長 鈴木健斗 取締役 谷口碧海 執行役員 伊澤謙
事業内容	<ol style="list-style-type: none">1. 生成AI研修実施・AIチャットボット導入支援2. AIコンサルティング・データ分析サービス・SNS研修実施3. 助成金導入支援4. AIスクールmirAI



企業のAI導入

「踏み出せない」を解決したい

AIがどんなものか、よくわからない・・・

AI導入って、何から始めれば良いかわからない・・・

本当に会社の業務改善に役立つのか、判断できない・・・

これら企業様のお悩みを

ワンストップで解決するサービスをご用意しました！



導入で終わらせず「定着」を。教育と開発の両輪で組織を動かす支援を「AI」で行う。



会社で活用する「型」を学ぶ。

現場の不便を解消する

「専用のカスタムAIツール」を提供。

業界最多人数：3,000人の受講者が証明する「現場主義」のカリキュラム。



総合受講満足度

88.9%

受講企業様一部ご紹介



講師評価

業界 No.1

89.7%

「明日から使える」
実践的な指導が
高い満足度

研修理解度

業界 No.1

92.3%

ワーク中心の研修
「わかったフリ」を
徹底的に排除

現場特有の課題に深く入り込み、
最適な定着支援を行うのが
DATAREINの強み。

「人が採れない」はもはや前提。限られた人数で回すための“武器”が不可欠。

全体の就業者数は増えているが、
人材不足は深刻化している。

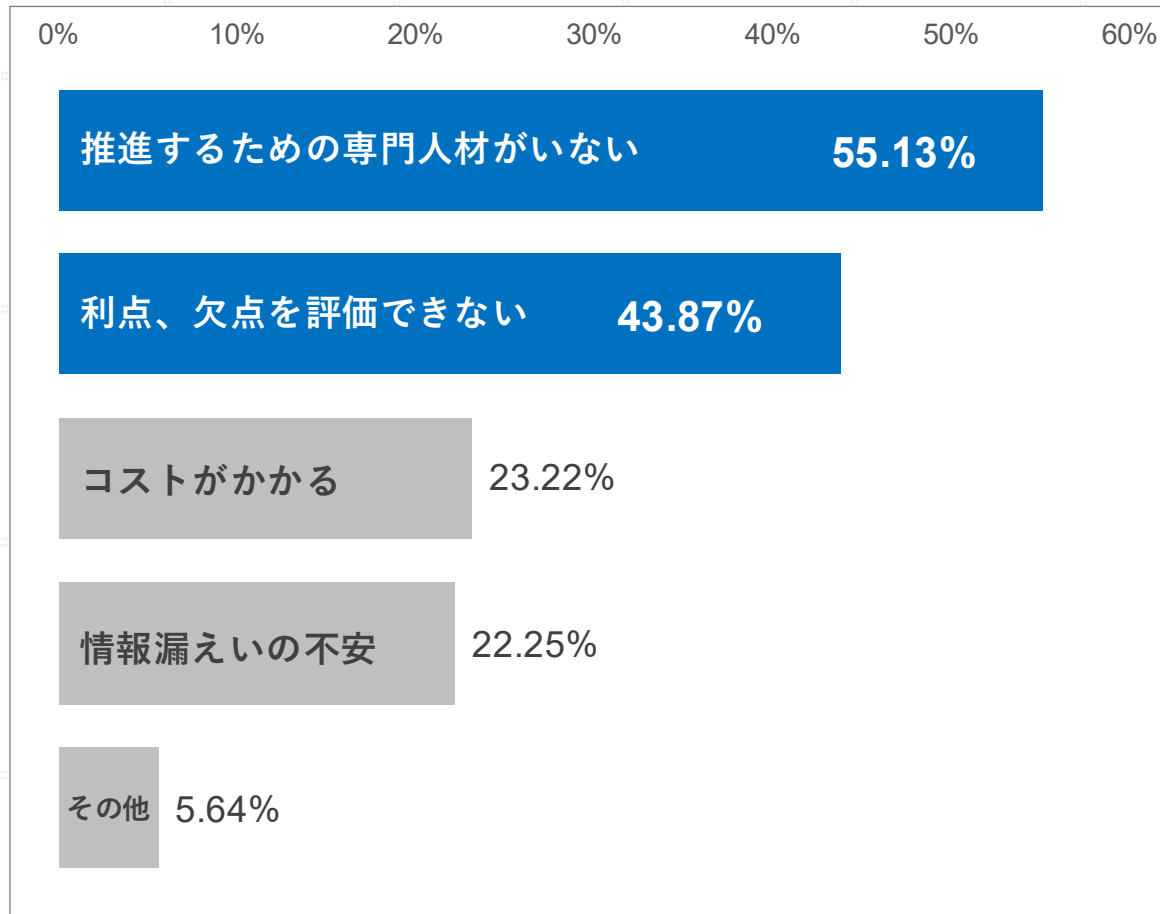
大企業に人材を取られ、中小企業は変わらず採用難。
さらに、賃金上昇によりコスト増。
中小企業は「新規雇用」が難しい状況は今後も変わらない。
※総務省「労働力調査」より一部引用

IT化によるデータ整理・蓄積するための
事務作業が増大。

情報がデータ化され、フォルダ内のデータが膨大に。
問合せ記録等のデータ蓄積・整理における手間が発生。
蓄積したデータも、企業のうち約4割は活用できていない。
※令和5年度情報通信白書より一部引用

既存社員を大切にしながら、最大効率で働けるように「武器」が必要となる。
その中で、「企業のAI慣れ」「社員のAI活用」は優先度として非常に高い。

深刻化する「AI格差」。中小企業の約8割が、活用のスタートラインに立てていない。



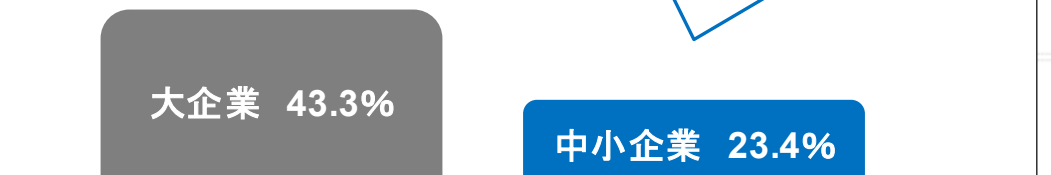
【図】「会社として生成AIの活用を推進していない理由（東京商工リサーチ）」から制作

原因

AIを知る人材がないため
「学ぶ場」と「活用イメージ」が中小企業にない

結果

AI活用の推進結果



【図】「東京商工リサーチ調査結果」から制作

「AIを使える人材教育」と「社内にマッチするAIツール導入」がセット。
人とツール両方がマッチするから、**即実践できる。**

生成AI研修

貴社業務に合ったAIツール開発

基礎理解 オリエン

AI基礎知識の習得

社員の学ぶ意義付け

01

実践操作

AIツール操作の習得

プロンプト基礎学習

02

要件定義

ニーズヒアリング

実務に沿った仕様策定

03

独自ツール 開発・提供

カスタムAIの構築

業務効率化の定着

04

「知っている」を「使いこなせる」に変える。実務に直結する5日間の体験型カリキュラム。

DAY
05 実践
（最終確認、業務に落とし込む）

DAY
04 GPTsの作り方
（貴社専用のカスタムAI）

DAY
03 プロンプト学習
（AIの指示を学ぶ）

DAY
02 セキュリティ + ChatGPT 基本

DAY
01 AIツール大量紹介 + マインドセット

単なる知識の習得ではなく、
自社の業務をAIで自動化する技術を
手にすることを目指します。

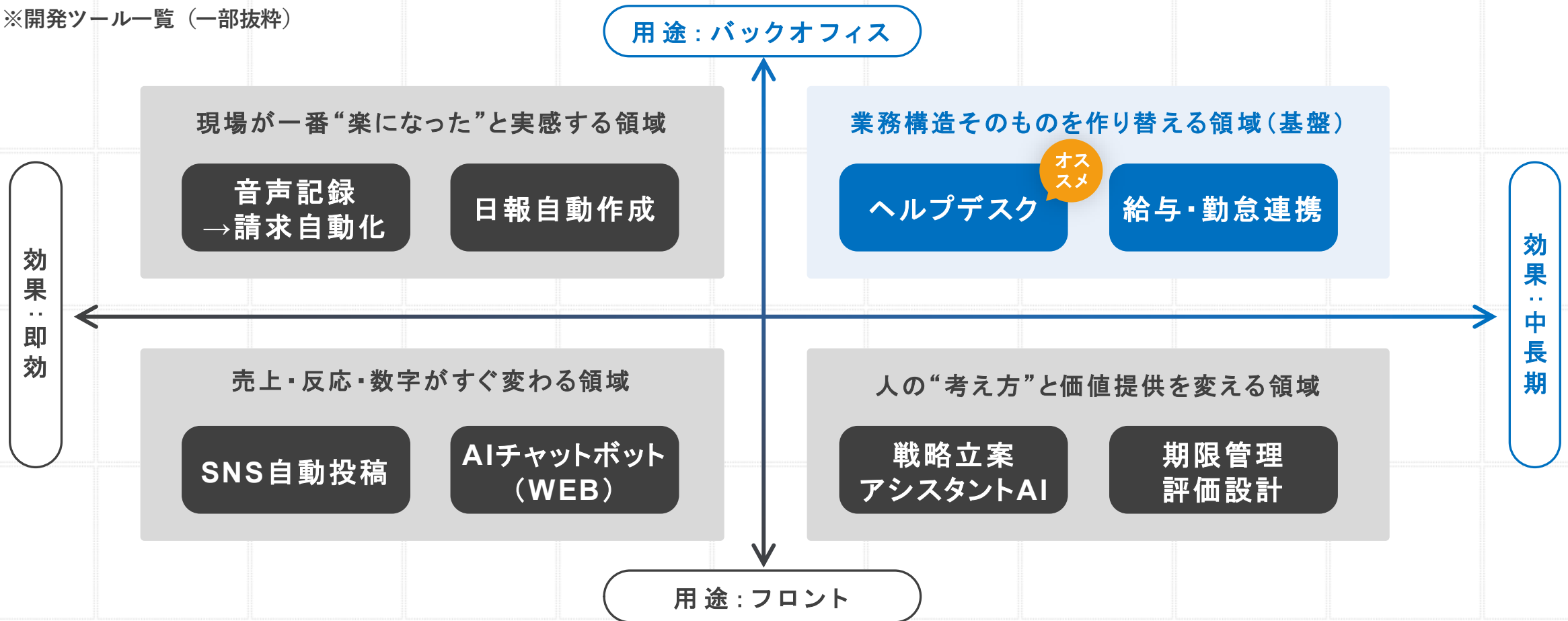
受講者のマインドを
「AI活用が当たり前」状態へ変革します。

サービスの特徴（AIツール開発）



「今すぐ楽になる」即効性と「将来を強くする」中長期的成長を全方位でサポート。
御社の優先順位に合わせて、最適な領域にツールを実装。

※開発ツール一覧（一部抜粋）



「仕組みの構築」と「コストメリット」の両立が、DATAREINが選ばれる理由。

	株式会社DATAREIN	プラットフォーム型研修会社	大手総合研修会社
学習目的	実技習得→社内定着	自己学習（オンデマンド）	基礎知識習得（座学中心）
実務への即効性	○ 研修&独自ツール開発	× 使い方のみ	△ 直結する事例は少ない
受講完了率	○ 集中研修にて、脱落者を出さない	× 個人のやる気次第	△ 途中離脱に関しての支援は基本ない
企業に合わせたAIツール開発	○ サービスに含む	× 教育のみ	× 教育のみ
コストパフォーマンス	○ 開発迄含めた金額では安価	○ コストだけで比較するなら安価	× 基本高額

事例①：社内ヘルプデスク（共通インフラ）

社内問い合わせを24時間AIが完結。 管理部門の負担をゼロに。

課題

- 管理部門に「同じ質問」が何度も来る
- 担当者によって回答がぶれる
- 対応が属人化し、ナレッジが蓄積されない

実施概要

- 生成AIヘルプデスクを埋め込み、チャット上で24時間365日の即時回答を実現
- 担当者が回答する内容を学習する仕組みを構築

成果

- 問い合わせの一次解決率が向上
- 新人・異動者でも自己解決できる環境の実現

人事・総務部門

「毎月繰り返される問い合わせが減り、担当者が本来の業務に集中できるようになりました。回答内容も統一され、社内の混乱が減っています。」



事例②：記録自動化（福祉分野）

音声AIで記録・転記の二重作業を解消。 月60時間の業務削減を実現。

課題

- 手書き→PC転記の「二重・三重作業」常態化
- 担当者で記録の粒度が変わる
- 事務作業に追われ、利用者対応の時間が不足

実施概要

- 音声AIより、音声→「構造化データ」へ変換・登録
- 記録情報をもとに「アセスメントシート」を自動生成する機能を実装

成果

- 月間60時間の業務削減を達成
- 記録品質が標準化

管理者（事業所責任者）

「残業が当たり前になっていたのですが、業務が削減されて、月60時間削減できたのは運営的にも大きいです。採用や定着にも影響すると思います。」



事例③：マニュアル自動作成（製造・バックオフィス）

図面解析→マニュアル作成の自動化。 開発リードタイムを短縮。

課題

- 複雑な図面→マニュアル作成が開発のボトルネック
- 特定の熟練技術者に文書作成の負荷が集中する
- 新人教育の「教える側」の負担が増大

実施概要

- 生成AIで解析し、説明書のたたき台を自動生成
- 「レビューと補正」に集中できるプロセスを構築

成果

- 文書作成負荷が大幅に削減、開発リードタイムを短縮
- 技術者の知見が標準化、マニュアル作成が効率的に

技術者（設計担当）

「マニュアルは必要だと分かっているけど、開発が優先になって後回し。ドラフトが出るだけで心理的ハードルが下がり、「作れる状態になる」のが大きいです。」



他社にない、研修+開発のセットプラン。助成金の活用も簡単に。

1名あたり

¥40万円

※税込み表示

- 2時間×5日間（合計10時間）の研修

※オンライン受講形式、最低10名受講から

- 独自AIツール開発（1ツール）

※受講状況→ツールの要件定義→開発

人材開発助成金 活用時の実質負担

1名あたり

9万円

※75%助成金適用時

助成金申請代行のご支援



特典

- 専門知識が必要な労働局への提出書類を、スピーディーに作成。
- 計画策定から事後報告までを一貫してお手伝い。

DATAREIN

